

正誤表

●事前にお送りした 県評価書からの修正 (本日お配りした評価書へは反映済み)

資料	項目	ページ	箇所	正		誤
資料1-1	R6評価結果(事務局案)表紙	3 (3)	裏	令和6年度	←	令和5年度
資料1-2	R6評価結果(事務局案)	評価結果(概要)	6	小項目4-2 事務局評定案	B	← A
資料1-3	R6評価書本体	4-2	6	小項目4-2 事務局評定案	B	← A
資料2-1	第3期業務実績に 係る評価結果(事務局案)	表紙	表	タイトル	第3期業務実績に係る評 価結果(事務局案)	← 第3期業務実績に係る見 込評価結果(事務局案)
資料2-2	第3期業務実績に 係る評価結果(事務局案)	評価結果(概要)	6	小項目4-3 タイトル	中期計画における数値目標の設定	← 中期計画の見直しに関する事項
資料2-2	第3期業務実績に 係る評価結果(事務局案)	評価結果(概要)	6	小項目4-3 機構自己評価	B	← -
資料2-3	3期評価書本体	1-3-2	17	細項目1-3-2 事務局評定案	S	← A
資料2-3	3期評価書本体	1-4	21	小項目1-4 事務局評定案	B	← A

● 第1回評価委員会以降 機構の実績報告書等の正誤

資料	項目	ページ	箇所	正		誤
第1回 資料2	令和6年実績	1-3-2	38	指標47 こども前年実績	1	← 0
第1回 資料2	令和6年実績	1-3-2	38	指標47 こども前年実績	1	← 0
第1回 資料2	令和6年実績	1-4-1	43	指標65 阿南前年実績	0.2	← 0.1
第1回 資料2	令和6年実績	1-4-1	43	指標65 阿南自己評定	A	← D
第1回 資料2	令和6年実績	1-4-1	43	指標65 木曽前年実績	-	← 0.1
第1回 資料2	令和6年実績	1-4-1	43	指標65 木曽自己評定	-	← D
第1回 資料2	令和6年実績	1-4-1	44	指標65に対するコメント (阿南)	記載なし	← 65 身体的拘束が必要な 患者が増加したが、毎日 のカンファレンスで継続的に 評価した。
第1回 資料2	令和6年実績	1-4-1	44	指標65に対するコメント (木曽)	65 身体的拘束率は、日本病院会QIプロジェクトが定義する「18歳以上の身体抑制率」の計算方法に基づき算出。令和6年度から正確な算定を開始したため、前年度との比較は困難であり、評価不能とする。	← の症状がある患者増により 身体拘束率が上昇した が、多職種によるラウンドに より拘束が不要なケースが ないか助言して現場の意 識醸成を図り、医師との 情報共有を行う等、拘束 率を下げるための取組を実 施
第1回 資料3	第3期実績	表紙	2	自己評価 評定 小項目4-3 中期計 画期間における数値目標 の設定	B	← なし
第1回 資料3	第3期実績	1-1-1	11	指標に対するコメント (阿南)	8-1,8-2,8-6 当院の医療機 器の…	← 8-1,8-2 当院の医療機器 の…
第1回 資料3	第3期実績	1-3-2	32	指標35 こども 令和5年度実績	1	← 0
第1回 資料3	第3期実績	1-3-2	32	指標36-1 こども R2、R3、R4、R5実績	R2 R3 R4 R5 14 14 15 15	← R2 R3 R4 R5 0 1 0 0
第1回 資料3	第3期実績	1-4-1	39	指標45-2 阿南 R5実績	0.20	← 0.10
第1回 資料3	第3期実績	1-4-1	39	指標45-2 阿南 評定	A	← D

資料	項目	ページ	箇所	正		誤
第1回 資料3	第3期実績	1-4-1	39	指標45-2 木曾 R5実績	—	← 0.07
第1回 資料3	第3期実績	1-4-1	39	指標45-2 木曾 評定	D	← —
第1回 資料3	第3期実績	1-4-1	39	指標45-2に対するコメント (阿南)	記載なし	← 45-2 身体的拘束が必要な患者が増加したが、毎日のカンファレンスで継続的にフォローした。
第1回 資料3	第3期実績	1-4-1	40	指標45-2に対するコメント (木曾)	記載なし	← 45-2 高齢患者増、せん妄の症状がある患者増により令和6年度は身体拘束率が上昇した。
第1回 資料3	第3期実績	2-3	53	指標65-2 信州 R2、R3、R4、R5実績	R2 R3 R4 R5 46.1 43.0 40.1 42.1	← R2 R3 R4 R5 74.6 80.8 81.4 71.4
第1回 資料3	第3期実績	4-3	68	中期計画	3 中期計画期間における数値目標の設定 診療機能の充実や経営の安定化が図られているかを検証するため、新公立病院改革ガイドライン等に基づき、医療機能等の指標や経営指標について数値目標を設定する。 また、年度計画においても、病院機構及び各病院に適した数値目標の設定に努める。	← 記載なし
第1回 資料3	第3期実績	4-3	68	自己評価	診療機能の充実や経営の安定化が図られているかを検証するため、公立病院経営強化ガイドライン等に基づき、医療機能等の指標や経営指標について数値目標を設定した。また、年度計画においても、病院機構及び各病院に適した数値目標の設定を行った。 自己評価区分：B	← 記載なし

説明

説明

説明
令和 5 年度は正確に算定できていなかったため、データなしとする
令和 5 年度以前のデータがないため、評価不能
項目追加（第 3 期 <u>見込</u> 評価の実績報告書には入っていたものの、第 3 期評価の実績報告書には入っていなかつたため）
項目追加（第 3 期 <u>見込</u> 評価の実績報告書には入っていたものの、第 3 期評価の実績報告書には入っていなかつたため）